

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ボランティア活動の実際			選択	1	1	通年
担当教員		研究室	電子メールID	オフィスアワー		
山崎 洋子 他		301	y.yamazaki	金曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要		ボランティア活動の基本理念・歴史・社会的意義などの基礎的な知識を学んだ上で、地域（社会福祉協議会、子ども食堂など）のボランティア活動に参加する。ボランティア活動を通じて様々な人と出会うことで自らを振り返り、自身が成長するための気づきを得ることを目的とする。さらに、活動に参加することで自らの体験や対人・社会関係の広がりを自覚し、対人援助職としての基本的な態度を養う。				
授業形式・方法		<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言		自ら積極的にボランティア活動に参加し、経験を重ねることで対人援助職としての自覚を養ってほしい。				
教科書		特に指定しない。				
参考書		授業の中で適宜示す。				
外部教材		特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	ボランティアの理念、意義を説明できる。			HSU(1)(2)		
②	ボランティア活動の背景やその歴史を説明できる。			HSU(6)		
③	ボランティア活動を通して地域・医療・福祉が抱えている課題を理解することができる。			HSU(5),NS(2)		
④	ボランティア活動に参加することにより、対人援助職者としての人間性を養う。			HSU(1),NS(4)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）			
1	オリエンテーション ボランティア活動の理念、意義、歴史 ・ボランティアって何だろう？ ・ボランティア活動から得るもの	講義	これまでに学生が参加したボランティア活動を振り返る。			
2	ボランティアの種類・活動内容 ・いろいろなボランティア	講義	学生の体験したボランティアを分類してみる。			
3	ボランティア活動を支援するボランティアセンターの役割（社会福祉協議会）	講義	参加してみたいボランティア活動を考える			
4	本学のボランティア活動支援の体制 ・学生サポートセンター ・ボランティア活動の参加方法（マナーを含む）	講義	ボランティア活動に参加する際のマナーや本学での手続きについて確認する。			
5~8	ボランティア活動に参加する	実習	通年で、2~3回、活動に参加する。			
9	<中間報告会>	グループワーク	夏季休暇までの参加ボランティアについて報告する。			
10~14	ボランティア活動に参加する	実習	通年で、2~3回、活動に参加する。			
15	<ボランティア参加報告会>	発表会	報告されたボランティア活動の内容をふまえ、自分にとってのボランティア活動の経験を振り返る。			
試	レポート					

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

		達成度評価						
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	0	50	50	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	10	0	0	20	
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	15	10	0	0	25	
	問題を発見・解決する力	0	15	0	0	0	25	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
試験	①							
	②							
	③							
	④							
レポート	①	✓	ボランティア活動に参加して考えたこと、ボランティア活動から学んだことに基づき、地域の医療・福祉の問題点を考察する。					コメントをつけて返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
成果発表	①	✓	各学生の体験を報告しあい、ボランティア活動で得た知識や学びを報告できる。					各学生の中間報告、最終報告会での討論でフィードバックする。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
備 考								
他担当教員	伊丹 幸子							
教員の実務経験	山崎洋子：行政保健師の実務10年、病院退院支援室5年の経験の中で、ボランティア活動に従事し、地域保健福祉分野のボランティアの育成も行った経験を有する。 伊丹幸子：保健所保健師として、地域組織ボランティアの育成に当たってきた経験を有する。							
実践的授業の内容	本科目にふさわしいボランティア活動を探索、学生の興味や関心にも合わせたボランティア参加の準備状況を整える。							
その他	・ボランティアに参加する際は、主催者及び、指導者の指示に従うこと。 ・教員は、原則として同行しない。							